

深浦校舎図書だより

オリジナルブックカバーを作ってみませんか？

先日行われたドットアート教室。とても個性的な作品ができました。せっかくすばらしい作品ができたので、オリジナルブックカバー（文庫本用）にしてみましょう。作り方は以下のとおりです。

- ①デジタルカメラやスマホで写真を撮ります。
- ②作品の大きさがぎりぎりまで画像をトリミングをします。
- ③Word で用紙サイズを B4 にし、真ん中にトリミングした画像を貼り付けます。
- ④画像のサイズを文庫本より少し大きいサイズ（横 23cm×縦 16cm）に変更します。
- ⑤好きな紙に印刷します。（できればレーザープリンターで）（図1）
- ⑥印刷した紙の上下を文庫本の縦のサイズに合わせて裏側に折ります。（図2）
- ⑦文庫本にカバーをかぶせて両端を本の内側に折り込みます。（図3）
- ⑧完成です。（図4）



図1



図2



図3



図4

屈良ゆう（著）『流浪の月』

2020 年の本屋大賞に選ばれた屈良ゆう著の「流浪の月」を原作とした映画が上映中です。19 歳の大学生と 9 歳の少女の「誘拐犯」と「被害女兒」という関係。当事者にしかわからない絆でむすばれた二人に「ずっとこのままでいて欲しい」と自然と思う。自分の物の見方が正しいのか、正義を振りかざして傲慢になっていないのか考えさせられる作品です。



春休み中に読んだ本の紹介

※図書委員の竹内結南さんが入力作業をしました

「何もない部屋で」で暮らしたい（ミニマム研究会／著） 小角匠斗

最近、「ミニマリスト」という言葉を頻繁に耳にするようになったのではないのでしょうか。「ミニマル=最小限」という言葉のとおり、身の回りにあるモノを必要最低限におさえ、モノを手放し、シンプル暮らすライフスタイルが注目されています。

私はこれまで身の回りをうまく整理できずにいました。そうすると、何をするにもスムーズにいきませんでした。しかし、この本で登場する 10 人のミニマリストの工夫をいくつか自分の生活の中に取り込んだことで、ストレスが減り、心が穏やかになり、集中力が増したように感じました。一度、読んでみることをおすすめします。



スマホゲーム依存症（樋口 進／著）

竹内仁

この本は、ネットやスマホゲーム依存に関することが綴られている内容の本です。この本を読んで、今、多く普及しているスマホでできるゲームは、依存症につながる事が分かりました。私は、スマホゲームを長時間プレイすることや課金をすることが多々あります。そのため自分は、スマホに依存していることに気付けなかったと思います。自分もスマホに依存しているかもと思う人は、ぜひ読んでみてください。

多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。(Jam／著) 三上航平

この本のタイトルである「多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ」という言葉は、悪口を言われて相手を恨んでも、言った側は対して気にしていないという意味です。

私は、周りの人に悪口を言いません。けれど、自分が何か失敗をするたびに他人がどう反応するか、不安になっていました。

そんな私の考えが変わったのは、この言葉と出会ったからです。自分で自分の失敗を後悔しても、周りの人は私の失敗をよほどの場合でない限り、責めません。そのため、これからは失敗してもあまり深く考えすぎない方が良くと思いました。最後に、もし自分自身や友達のことでも悩んだらこの本を読んでみて下さい。きっと前向きになれるはずです。



人は話し方が9割 (永松 茂久／著)

岩谷心愛良

私が紹介したい本は、「人は話し方が9割」という本です。題名にある通り、人の話し方や聞き方について教えてくれます。その中で私が学んだことは、話し上手なのも大切だけど聞き上手であることも同じくらい大切だということです。私は、人と話すことが好きなのですが、いつも話してばかりで聞くことが少ないので、これを機に聞くことも意識して会話できるようにになりたいです。

この本を読むと、学ぶことが沢山あるのでぜひ読んでみてほしいです。

ママがもうこの世界にいらなくても (遠藤 和／著) 黒滝真歩

この本は、遠藤和という女性が大腸ガンになってから亡くなるまでの実際の日記がつづられています。私は病気になったことがありません。けれど、この本を読んでから生きることへの考え方が変わりました。生きたくても生きられない人がいるのだから、自分の命をもっと大切にしようと思いました。

みなさんもぜひこの本を読んでみて、改めて生きることに対する考え方を見直してみてください。



すべての瞬間が君だった (ハ・テワン／著)

斉藤 紫菜

私はこの本を読んでみて、気が楽になる本だと思いました。最近悩み事や辛いことがあって落ち込んでいた時にこの本を読んで、心に響きました。それから、自己肯定感を上げてくれる本だと思いました。

今悩んでいる人や、生活してて辛いことがある人、元気がほしい人はこの本を読んで心を癒やされてください。一言一言がとても心に残ります。小説ではなく詩で書かれているので、とても読みやすいです。そして表紙や本に出てくる絵が可愛いのでおすすめします。

自信と肯定

なんでもないことのようにだけど

目の前で、ずっと欲しかったものを逃したとき

「いずれにせよ、うまくいくことになってるんだから」

と考えることが

なにより重要だ。

そういう自信と前向きな考えが

結局は、君がなによりも望んでいたところへ

連れていってくれるはずだから。

